



新編  
續入

花市運理綱

三





花市連理絹

み乃花

高安乃榮花



○ 花市連理絹

花市連理絹

花市連理絹

○ 花市連理絹

花市連理絹



お世乃もも ちんぐ

○かきり比之尼の

一姉と出ふつら

蕎麦友切賣

○高安新山富士法圓

比叡山麓の都を山一坂中

なびきほら音乃袖

高安乃栄花

榎花一日社栄花と一のむきんのおぢりつが井  
野のうらまら道後まゆめの人と二回おれ一  
を榎の下を百姓をまゆめてこり身はくま  
よんとく二倍のひと酒は昔一たさうづ比の下  
かぬいせゆ一乃いらまのまゆめりを門とつれま  
たふのちゆよとまうくようけいもつらまひと目と保  
ささうとくまよまゆめのおひけりまゆめんの資く  
根のまの根をなまうつ一うくまゆめんのまゆめ  
あやとくま十八公まゆめく一まゆめ又例の  
んまゆめまゆめは乃つが井り根くまゆめんのまゆめ

あつたふしをたてしむるにや  
どよめきけりしつらきこと  
ありきよのほへりの世より  
さるるりまるとは通へぬ  
たもとすれつが井がまどう  
おろぐゆれをんとく丸を  
たかくいほをえくす  
と武るのあらしき  
ほのうあらしき  
むをぬく殿極推せん  
あううとつらむ  
ありうをたつゆり  
ありきよのほへりの世より  
さるるりまるとは通へぬ  
たもとすれつが井がまどう  
おろぐゆれをんとく丸を  
たかくいほをえくす  
と武るのあらしき  
ほのうあらしき  
むをぬく殿極推せん  
あううとつらむ  
ありうをたつゆり

あつたふしをたてしむるにや  
どよめきけりしつらきこと  
ありきよのほへりの世より  
さるるりまるとは通へぬ  
たもとすれつが井がまどう  
おろぐゆれをんとく丸を  
たかくいほをえくす  
と武るのあらしき  
ほのうあらしき  
むをぬく殿極推せん  
あううとつらむ  
ありうをたつゆり  
ありきよのほへりの世より  
さるるりまるとは通へぬ  
たもとすれつが井がまどう  
おろぐゆれをんとく丸を  
たかくいほをえくす  
と武るのあらしき  
ほのうあらしき  
むをぬく殿極推せん  
あううとつらむ  
ありうをたつゆり

いざしめ申されんともづつと 奉り命の石段をあら  
けしきもぞつくしこれまたじしに 露をちらほ一た筋を  
とどびて一しめゆへにたのむとて しかれむと申ふは  
あぐくびしちりししこれよんせとて ちりつゝくれげ  
大くうししちりししちりししちり ちりししちりし  
及びししちりししちりししちり しかのされあら  
くちりししちりししちりししちり 幸のちちりしちりし  
もあけし後徳丸のうししちりし ちりしちりしちりし  
ちりしちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりし  
さむししちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりし  
おのちりしちりしちりしちりし ちりしちりしちりし  
ちりしちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりし

くちりしちりしちりしちりし ちりしちりしちりし  
のちりしちりしちりしちりし ちりしちりしちりし  
い女中は深き味さうとて 酒さうちりしちりしちり  
くちりしちりしちりしちりし 侍さうちりしちりしちり  
おをぬありよほしちりし ちりしちりしちりしちり  
ゆけちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり  
ちりしちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり  
ぬいのちりせんちりし 女乃ちりしちりしちりしちり  
世うれはちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり  
そのちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり  
ちりしちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり  
ちりしちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり  
ちりしちりしちりしちりしちり ちりしちりしちりしちり

らんまうのめらぬのあひごゝとあひだのあをひつゝ  
されぬと信徳九さひまめと園の一回は入はるこ  
保ざるはうらうらひとさうくは又さうづゝとあつと  
ろいめで船さぬとさうさうとさうとさうとさうとさ  
やありあはせとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
さぬの法とあの中さうさうとさうとさうとさうとさ  
むくひなをさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
さうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
らーとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
よとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
ひく今まあさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
さちゆさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
膝さうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ

くららげとわさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
ぐんらとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
が中らとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
よあらとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
こまらとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
くと船とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
ひらとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
ざら同とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
園城とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
そやとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ  
とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさ







事ふのまじきかなむらさきのうらみとよみちをらんそ  
らふ〜〜〜  
よむの二十におのそ〜〜〜  
あり亭のなごめ海をせん〜〜〜  
申くまもん〜〜〜  
たぬもはくほのいふ〜〜〜  
あつきのものおのほいあつきの〜〜〜  
よ〜〜〜

むんや〜〜〜  
さあまつり〜〜〜  
ひあぢも〜〜〜  
と〜〜〜  
あぢあぢの〜〜〜  
杖乃ぎび〜〜〜  
ひあぢあぢ〜〜〜  
はら〜〜〜  
あぢあぢ〜〜〜  
さうりあ〜〜〜  
事ふる〜〜〜





のりものひきかゝりしはつたのくがひにんもくは源  
 もを肩とれたるこぶしなどいらさあはひゆりせこと  
 むむでゆく程もやとあへかあは重井く人  
 出むひきまじくは流るあはひさあは人の死がん城  
 へいこは内乃あはゆりたらあはひあはひあはひ  
 まじくうさの回すしらす味このいの言をむね  
 びりかゝりまゝのあはひは白杭あはひとあはひ  
 せせせせせせせせせせせせせせせせせせせせ  
 どののべんじやんはあはひ色たうりてあはひ  
 実ありごうくとあはひむをねしつめむひあはひ  
 うし大らううさあはひのたの中あはひあはひあはひ  
 尾ははあはひとよはあはひの一事を体ひさうり

ばんた屋乃くまの菓の一包

### 出世乃もふ あはひ あはひ

くさうりはあはひ推しを舞それようりて世をんじやう  
 せ比エんのかんくはあはひあはひあはひあはひあはひ  
 安乃やうさの中あはひはあはひあはひあはひあはひ  
 けものあはひあはひあはひあはひあはひあはひあはひ  
 ぎけあはひあはひあはひあはひあはひあはひあはひ  
 強ごんはあはひあはひあはひあはひあはひあはひあはひ  
 一あはひあはひあはひあはひあはひあはひあはひあはひ











ちやんとく丸はあわりのせあまとりりちられたるまうごま  
ちやんば 柳屋間がむとあに保がれを清る船とあいらあ  
下されまゆあり富士浅間あま家のゆきをほご船を  
よほりちまらぐーとちやんごのせまひんご  
糸人のその名もこうに富士浅間ま世のまごご  
りよごは佛ごまやちやんとく丸をまれの四あふ  
高安やまごごにけりけりありあ家のまごご  
スーくまご

宝暦十年

大坂心齋橋筋唐物町

辰正月吉日

北田清左衛門板

⑤

